

大山恵みの里だより vol. 55

問い合わせ先
大山恵みの里公社
☎0859-54-6600

大山恵みの里全体会

7月27日(金)、「大山恵みの里会全体会」を行いました。大山恵みの里会は大山恵みの里公社を通じて農水畜産物や加工品を出荷する会員の組織です。登録会員は307人(7月末時点)となっており、生產品目別の6つの部会、部会役員による協議会で構成されています。

この日は協議会長から平成23年度の各部会の活動報告、24年度の事業計画が発表され、続いて公社事務局から23年度の事業報告などを行いました。平成23年度の公社の各事業による売上高は2億4千万円、補助金収入も加えての全体の収支は592万円の赤字でした。

全体の売上のうち、登録会員による委託方式の出荷売上高は1億23万円、会員の直接

[I] 全体の収支状況

事業等による収入	24,527万円
補助金等による収入	6,634万円
収入合計(A)	31,161万円
支出合計(B)	30,569万円
収支差(A-B)	592万円

[II] 登録会員の出荷・販売状況

出荷者数	206人
売上高	10,023万円
出荷者の手取り収入	7,917万円

[III] 公社による大山町関連産品の仕入高

JA・町内事業者などから	5,153万円
--------------	---------

※[II]を含まない

手取り収入は7千9百万円に及びました。

会員からの委託出荷の他にも、公社では5千万円強の大山町産品・加工品をJAやメーカーから仕入れ、県内外への販売に注力しました。公社の平成23年度事業・決算報告については公社ホームページで公開するほか、希望者は本部事務局で閲覧することが出来ます。

◆問い合わせ先

大山恵みの里公社・金田
☎0859-54-6600

平和への誓い

大山口列車空襲慰霊祭

県内最大の戦災に見舞われた昭和22年の大山口列車空襲の犠牲者を慰霊する「平和祈念の集い」(大山口列車空襲被災者の会 山林紀代美会長)が、7月28日に大山公民館で営まれました。遺族や町内4つの小学校児童、関係者など約120人が出席し、菊の花を供えて、亡くなった犠牲者に祈りを捧げました。

今年も慰霊碑が建立されてから20周年を迎え、鎮魂と平和への祈りを込めた朗読や箏の演奏も行われました。会長の山林さんは「慰霊碑は私たちのつらさ、悲しさの



▲手を合わせ、冥福を祈る参加者

象徴です。この日に誓って、平和の日が長く続くことを願っています」と話されました。



▲建立から20年

編集後記

表紙は花火の打ち上げ開始を待つ、たそがれどきの御来屋漁港。大漁旗が船の照明に浮かびあがってきれいでした。

御来屋が舞台になるといえば、NHK総合テレビ「鶴瓶の家族に乾杯」です。前編が9月10日(月)、後編が9月17日(月)夜8時からの放送予定です。見慣れた景色がどんなふうに見えるのか興味津々。鶴瓶さんの大山町の旅を一緒に楽しみましょう。

(ひろ)



大山町広報9月号 No.109

◆発行：大山町役場

◆編集：企画情報課

* eメール kikaku@daisen.jp

鳥取県西伯郡大山町御来屋328番地

TEL 0859-54-3111

FAX 0859-54-5216

大山町ホームページ <http://www.daisen.jp/>

◆印刷：有限会社米子プリント社

私たちのまち (8月1日現在)

○人口：17,856人(-17)

男：8,508人(-3)

女：9,348人(-14)

○世帯数：5,840世帯(-9)



▲暑さに負けず、すずなりにユリの花が咲いていました(門前)



この印刷物は大豆インキを使用しております。

この広報紙は、環境に配慮した再生紙を使用しています。